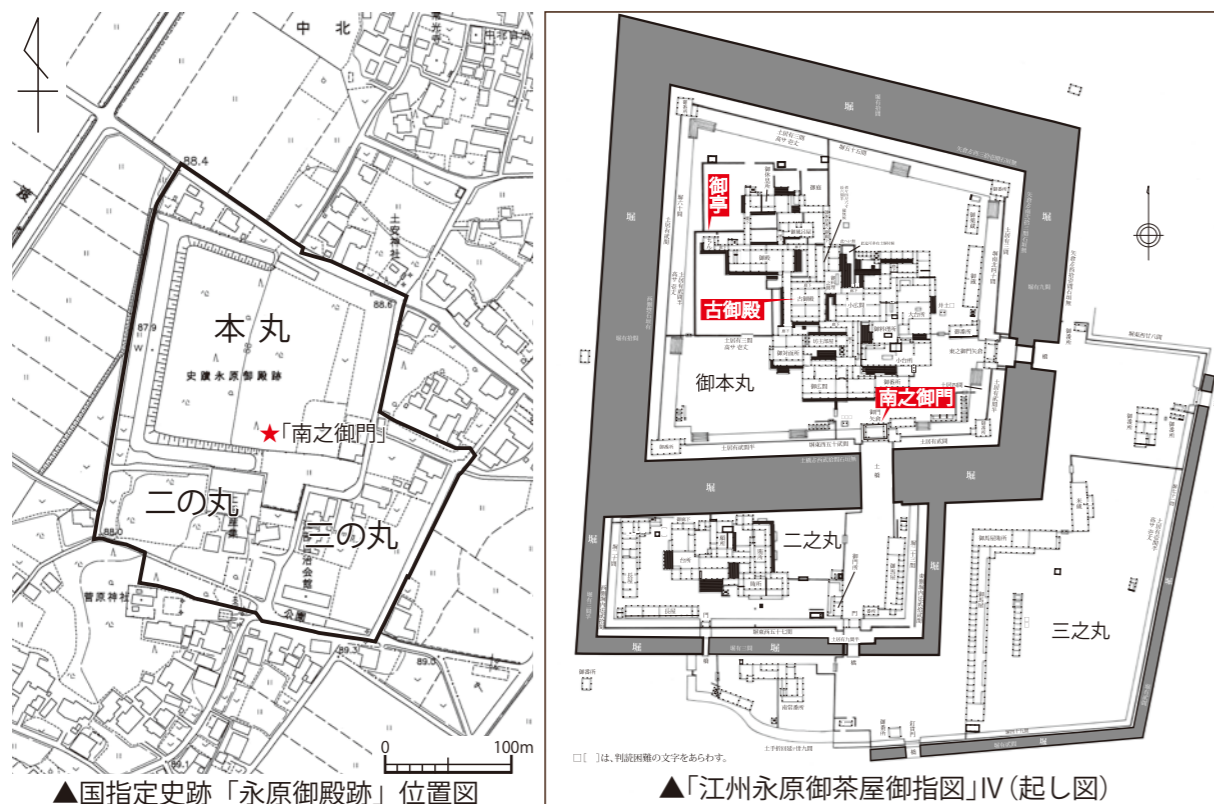


【国指定史跡】 永原御殿跡

【史跡所在地】 滋賀県野洲市永原字馬場ノ内 地先

【指定面積】 33,831.35 m² (追加指定 令和3年3月26日 現在)



▲国指定史跡「永原御殿跡」位置図

▲「江州永原御茶屋御指図」IV(起し図)

◆ 第1期整備の概要 ◆

I. 本丸西側の残存土塁 (どるい)

…遺構として残っていた高さ約3mの土塁です。崩落危険箇所を修復し、確実に保存していきます。

II. 本丸内部の御殿建物跡

…これまでの発掘調査で、御殿建築の礎石などが発見され、その遺構は御殿当時の建築図面である「中井家指図(さしず)」ともほぼ合致するものでした。引き続き発掘調査を実施し、その成果と中井家指図を活用して、将軍御殿の建築範囲や間取りを現地で実際の大きさのとおり表示します。

III. 本丸東側の土塁復元

…本丸東側の土塁は後世の破壊を受けて残っていませんでした。整備では発掘調査の成果を元に当時の様子を復元土塁として再現します。将軍御殿の城郭としての外観を表します。

①. 本丸「南之御門(みなみのごもん)」

…本丸の正門にあたり、令和2年度の発掘調査により、櫓門(やぐらもん)の存在が裏付けられました。今後も資料調査を継続し、第2期以降の建物復元を目指します。

②. 本丸「丑寅角御矢倉(うしとらすみのおんやぐら)」

…見張り番所であった、本丸北東側の隅櫓(すみやぐら)の櫓台(やぐらだい)です。北西側の「乾角御矢倉(いぬいすみのおんやぐら)」の発掘調査成果や中井家指図の表記をもとに遺構を平面表示します。付近の土塁内側にある石階段「雁木(がんぎ)」の整備も行い、本丸内部への見晴らし場とします。

◆ 史跡整備の基本方針 ◆

① 保存

…城郭としての縄張り(地割)を活かすとともに、土塁・堀・石垣などの遺構を発掘調査で明らかにして確実に保存します。

② 活用

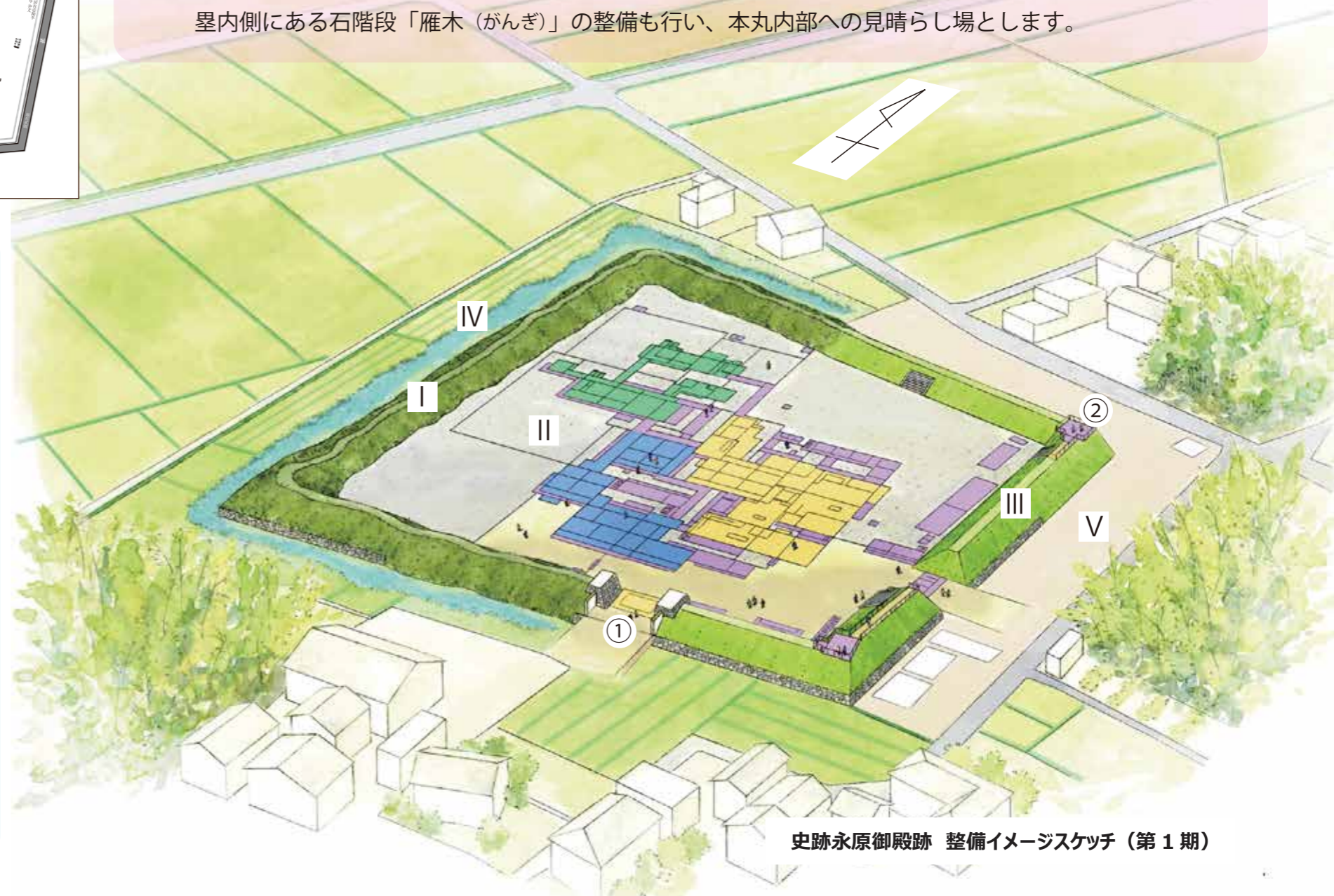
…発掘調査や他の資料調査の成果に基づき、見学者に分かりやすい展示の手法を検討して情報発信に努めます。
…整備や事前の発掘調査には、市民参加の機会を設定します。

③ 整備

…土塁・堀などの復元整備によって、壮大な将軍上洛御殿の空間を実感できる整備を目指します。
…解説サインや便益施設の整備により、見学者の利便性・快適性の向上を図ります。

④ 運営

…地元自治会、まちづくり団体、小中学校と連携した公開活用・管理運営を行います。



史跡永原御殿跡 整備イメージスケッチ(第1期)